

笑顔で元気いっぱい

徳倉小学校 学校便り
平成30年11月1日

秋の清々しい風を感じる季節になりました。学校は、10月9日から2学期となり、平成30年度も折り返しです。徳倉小学校では、子どもたちの学びを充実させるため、外部の方々による出前授業を行っています。その取り組みを紹介します。

- 1年 三島市健康づくり課の協力により、収穫したサツマイモを使ったおやつ作りを行います。
- 2年 伊豆箱根バスに行き、バスの乗り方教室を行います。また、北上文化プラザに行き、公共施設を見学します。
- 3年 三島市健康づくり課の協力により歯の健康や、生涯学習センターや市民文化会館、マックスバリュウの見学に行きます。
- 4年 グランドワークの協力により三島の水や、浄水場、浄化センター、清掃センターの見学に行きます。
- 5年 農政課やフォレストクラブのご協力により、森林学習・間伐体験や、健康づくり課のご協力により、味覚学習を行います。
- 6年 淡交会のご協力により、茶道教室を行います。

活躍する徳倉小の子どもたち その3

「まい姫をやって」

5年 武蔵 美玖

私がまい姫をやって大変だったことは、練習です。練習は全部で5回あり、最初のうちは、ふりつけを覚えました。何度もくり返しおどっていくうちに、だんだん覚えていきました。ふりが上手になると曲に合わせておどりました。曲はすごくゆっくりで、なかなかふりと合いませんでした。でも、1回だけぴったりと合った時があり、その時はすごくうれしかったです。そして本番が近づくと、衣しようも着て練習をしました。衣しようを着るとすごく暑くて、おどりにくかったです。本番前日は、八乙女神社でおどり、いろいろなアドバイスをもらいました。そして、いよいよ本番。始まる直前まで練習をしていました。来ひんの人が入ってくると、ついに式が始まりました。まい姫がおどる番になると、曲が流れ始めました。来ひんの人たちが見ている中、ちゃんとおどれるか不安がありました。最後まで失敗せずにおどることができ、ほっとしました。まい姫が終わると安心したのとたっせい感がありました。一生に一度しかない体験だったと思うので、いっしょうけんめいがんばってよかったと思います。

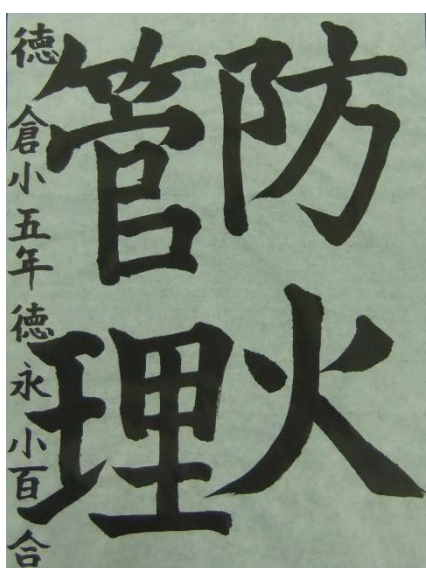


「最後の走り幅跳び」

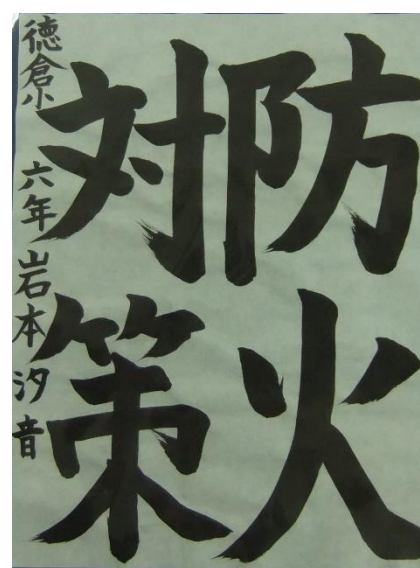
6年 加藤 雄大

ぼくは、三島陸上に所属していて、4年生のころから走り幅跳びを専門にやってきました。そのころからずっと「4mを跳びたい。」と思っていました。そして、6年生になりましたが、4mは跳ぶことができませんでした。10月になり最後の大会が近づいてきました。大会当日足合わせをしているときも、「今日こそ4mを跳ぶんだ。」と強く思いました。それから本番が始まり、1本目に4m14cmを跳び、ガッツポーズをしてよろこびました。さらに、3本目には、4m19cmという記録を出すことができました。後でこの記録が県内で15位ということも知りました。つらいこともたくさんあったけど、がんばって陸上を続けてきてよかったです。

三島市防火ポスター及び書道展において二人の子が栄えある賞を受賞しました。



市長賞受賞 5年 徳永 小百合 さん



教育長賞受賞 6年 岩本 汐音 さん



まい姫は、武蔵美玖さんと高橋優花さんの二人が、10月7日の祭典で、素晴らしいおどりを見せてくれました。